

令和 6 年度 東京都立八王子盲学校 学校経営報告

校長 田島 由紀子

I 今年度の取組と自己評価

目指す学校「一人一人の最適な学びを追究し、生きる力を育む学校」の下、下記の4点の重点事業を令和6年度の『八盲4大プロジェクト』として、取り組んだ。

- ① 仮設校舎への移転
- ② 関東甲信越地区盲学校弁論大会の主幹校としての開催
- ③ 全国盲学校フロアバレーボール TOKYO 大会の主幹校としての活動
- ④ 旧校舎で行われる最後の六光祭

これらのプロジェクトはすべて2学期からの仮設校舎生活が始まる前に実施した。実際には準備等を含め、前年度から取組を進めてきていたが、今年度になり、人事異動に伴う新たなメンバーの加入や変更もある中で、八盲教職員、幼児・児童・生徒そして保護者が一丸となって取り組み、プロジェクトを中心に学校全体が一体感をもつことができた。

『八盲4大プロジェクト』が大きな比重を占める中で、通年取り組んでいた研修など計画通りにいかないものもあった。令和7年度に向けては、これまでの取組を踏まえ、更なる改善と発展を目指していく。

II 今年度の数値目標について

(1) 視覚障害教育の専門性を発揮した学習指導		
目標	計画	結果
① 一人1台端末を活用した授業	各学部10回以上	実施
②他盲学校とのオンライン授業及び交流	3回以上	小3年生 7回
③教科書デジタルデータの活用	希望者全員	実施
④点字ディスプレイの活用	希望者全員	実施
⑤重複障害教育に関する専門性の向上	講師招聘年10回	実施
⑥日本の伝統・文化教育、環境教育の推進	各学部1回以上	蚕の飼育5～7月 地域清掃(通年)
⑦主権者教育の推進	公共及び特別活動 を中心に実施	実施
⑧読書活動の言語活動の充実	図書プロジェクト 弁論大会(中・高)	「校内読書週間」 を年間2回実施。 5月に「校内弁論 大会」を開催。
⑨関東甲信越地区盲学校弁論大会の実施	主管校	7月に「関東甲信 越地区盲学校弁論 大会」を開催。「全 国大会」出場者を 選定。
⑩点字コンテスト・漢字コンテストの実施	各年2回	6月、及び11月 に年間2回実施。
⑪実用英語技能検定、日本漢字能力検定、珠算能力検定、 情報処理検定等の受検の推奨	年延べ20名	年間合計延べ30 名が受検
⑫視覚障害教育の基礎定着に向けた新転任研修	年40回	実施
⑬自立活動の内容に関する校内専門研修	年4回	実施
⑭視覚障害教育の専門性向上に向けた教科グループ研究	月1回	実施

⑮全校教職員対象研修会	年1回	実施
⑯全教員の研究授業	一人1回以上	実施率96%
⑰授業改善推進プランの作成、授業研究連携校との相互連携	各学部	連携校と相互に協力して交流活動を行い、他種別校間の理解を深めた。
⑱特別支援学校教諭免許状（特に視覚障害領域）の取得	未取得者全員 認定講習等の受講	実施

(2) 人権尊重・生命尊重を根幹とした生活指導 安心・安全の確保		
①いじめ・体罰の状況把握、予防、早期発見、早期対応	年4回、発生0件	年4回、発生0件
②スクールカウンセラー等を活用した心のケアに関する取組の充実	希望者全員面接	希望者を含めた全員面接実施
③校内支援会議による個別のケースの共有と対応	年3回	実施
④SOSの出し方に関する教育	年1単位時間又は日常の指導	実施
⑤関係機関と連携した一泊二日宿泊防災訓練	年1回・中学部	実施
⑥大規模災害に対応するための防災スターキットの設置	1学期	2学期に実施
⑦大規模災害を想定した学校危機管理マニュアルの更新	1学期まで	4月作成
⑧障害特性に応じた防災研修、避難訓練の改善、実施	研修1回 避難訓練11回	実施
⑨食育の推進、特別食（アレルギー対応食含む）の安全な提供	関連事故発生0件	達成
⑩視覚障害スポーツに関する授業（学校2020レガシー）	小学部4年以上：年2競技以上	ゴールボール/ブラインドサッカーの体育授業を実施
⑪各種スポーツ大会、作品展示会、音楽発表会等への参加【関東地区盲学校各種大会、東京都障害者スポーツ大会、総合文化祭等】	のべ50名以上	「たのしい蚕の発表会」作品の出品

(3) 総合校、寄宿舎設置校として系統的な指導、生活力の育成をとおした希望の進路の実現		
①一貫した指導、連携のため相互授業参観	他学部参観 寄宿舎参観	寄宿舎生(小中普)授業参観達成100%
②学校生活支援シート活用による「なりたい自分」キャリア発達支援	各担任 年2回	実施
③将来の生活を見据えた白杖歩行指導、一人通学指導	自立活動の時間及び随時	実施
④職場体験学習 就業体験（インターンシップ）	小・中・高普	実施
⑤あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家試験合格に向けた放課後及び長期休業日中の補習	希望者全員	希望者2名 全15回実施
⑥希望する進路の実現（進学・福祉的就労・企業等就労）	100%	普通科100% 理療科 0%
⑦新たな進路先開拓の取組	5件	実施
⑧外部資源を活用した授業、講座、見学	各学部2回以上	実施
⑨学舎連携会議の設置と迅速な課題対応	月1～2回	計画通り100%実施

⑩寄宿舎生活におけるADLの指導、自治活動の充実	随時 舎生会企画 年4回	ADL指導 随時 舎生会企画年4回 実施。達成100%
--------------------------	-----------------	-----------------------------------

(4) 発信力の向上と視覚障害センター校としての地域との連携強化		
①寄宿舎参観週間の実施、寄宿舎保護者会の実施	年5日間	・寄宿舎参観8日間実施 ・保護者会年3回実施
②保護者学校評価(アンケート)回収率の向上	90%以上	87.5%
③交流及び共同学習(八王子ふたば保育園、八王子市立散田小学校、館小中学校、近隣の高等学校)	幼稚部交流:年5回、その他行事相互交流参加:各年1~3回	《幼稚部》ふたば交流年16回 《小学部》散田小交流年1回 都内盲学校交流会年1回
④副籍制度の活用(特に直接交流)	小・中学部生の40%	22人中11人が直接交流 50%
⑤高等部理療科3年生による臨床実習を活用した地域貢献	校内:週5日、校外:随時	開設日数135日 患者人数586人
⑥本校及び視覚障害教育に関する情報等の発信	資料等送付先1万か所	実施
⑦ホームページの内容の充実・即時更新	年100回	99回
⑧学校公開、ボランティア講座への参加促進	延べ50名	74名 ※学69+ボ5
⑨育児相談等による乳幼児相談支援の充実	年延べ30名	43名
⑩地域の幼稚園・保育園、小・中・高等学校等への支援	年30回	▼25回
⑪地域清掃タイム	児童・生徒 教職員 月2回以上	児童 5回/年 教職員 2回/月 計28回

(5) 校舎改築・仮校舎移転を契機とした環境整備と工夫		
①校内の美化、不用物品の適切な廃棄「断捨離日」の設定	月1回、長期休業	実施
②校舎改築プロジェクトにおける「本校の在るべき姿」「視覚障害に配慮した生活空間の在り方」の検討・実施「安全で充実した代替活動」の計画・実施。	通年(適時)	校舎改築委員会(22回実施)で検討・実施
③全校行事検討プロジェクトによる「行事の在り方」検討・校舎改築に対応した行事の実施	通年(適時)	実施
④工事に伴う安全の確保に向けた関係部署との連携・調整	随時	実施
⑤体育の授業における安全な代替施設利用	水泳指導20回 持久走指導10回	実施
⑥令和6年度全国フローバレーボール大会主管校としての運営、関係団体との調整	プロジェクト 随時	実施

(6) 組織的、効率的な学校運営による信頼される学校づくり		
①自己申告「今年度の職務目標」の明確化と進捗状況の確認	年3回以上	実施
②経営会議による各部署の課題の早期把握・解決	週1回	実施
③経営計画進捗表による進捗確認と評価・修正	年4回	未実施
④確実な情報共有の工夫【会議記録、掲示板】	5点以上	会議記録のデータ回覧 ○
⑤予算調整会議による計画的な執行管理) センター執行率向上	年3回 50%以上	実施 52.1%
⑥「定時外在校45時間/月」超過者	15%未満	達成
⑦開かれた学校運営連絡協議会	教職員参加型 年1回	実施
⑧サービス事故防止研修、接客研修	年10回 サービス事故ゼロ	サービス事故防止研修年間8回実施 接客研修は今年度未実施 サービス事故0は未達成
⑨ロールモデルとなる接客、丁寧な対応の徹底	電話対応 外部対応研修 各1回	初任者研修で接客を実施 全校での接客研修は未実施
⑩職員の心身の健康増進とメンタルケア 安全衛生委員会の活用	月1回	実施
⑪PTA業務のスリム化	負担軽減の取組と発信	通信のペーパーレス化とマチコミメールでのデータ配信、(教職員はPCデータ配信) 役員会の開催を年4回から年3回に削減。